

## 令和5年度 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業 スポーツクライミング教室

- 1 趣 旨            スポーツクライミングを身近に感じてもらうとともに、困難に立ち向かうチャレンジ精神を養成する。
- 2 主 催            国立大隅青少年自然の家
- 3 企画運営        鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会
- 4 期 日            第1回：令和5年12月10日（日）  
第2回：令和5年12月17日（日）  
第3回：令和5年12月24日（日）  
第4回：令和6年 1月21日（日）  
第5回：令和6年 1月28日（日）
- 5 参加対象        体験活動に興味のある子ども（小学生）・家族
- 6 募集定員        各回30人程度
- 7 参加者           第1回：25人（申込人数：150人）    第2回：27人（申込人数：142人）  
第3回：28人（申込人数： 89人）    第4回：35人（申込人数：135人）  
第5回：30人（申込人数：149人）    計145人（申込人数：665人）
- 8 指 導 者        鹿屋体育大学 講師 坂口 俊哉 氏  
鹿屋体育大学 学生 5名  
国立大隅青少年自然の家職員



### 9 日 程

全回共通	
9：30	受付
9：50	開講式
10：00	スポーツクライミングについて（説明）
10：30	体験開始
12：00	体験終了・アンケート記入・閉講式

### 10 事業運営上の配慮

- (1) 指導者の人数を安定的に確保するために、鹿屋体育大学の坂口氏に協力いただいた。
- (2) クライミング体験中心のプログラムではあったが、スラックライン体験ブースも設置することによって、待ち時間の短縮を図った。
- (3) 多くの方がスポーツクライミング体験をできるように、各回で参加者が重複しないように抽選した。

### 11 参加者の感想

- 何度も挑戦して、成功する達成感を味わうことが出来た。
- 待っている間にも、クライミングについて教えてもらえて良かった。
- 実際にやってみると、見るよりも大変だったが、楽しかった。
- ずっと挑戦してみたかったので、体験することが出来て良かった。

### 12 成果と課題

- 大人も子どもも、たくさんの方にクライミング体験を楽しんでもらうことが出来た。
- 頂上まで登りきることで自信につながり、レベルアップを目指したいという向上心も見られた。
- 家族やグループでも、本施設でクライミング体験をできることを知ってもらうきっかけとなった。

